

2020年3月期 第2四半期決算短信(IFRS)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 アンリツ株式会社
 コード番号 6754 URL <https://www.anritsu.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 濱田 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 CFO

(氏名) 窪田 顕文

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 046-296-6507

2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	49,808	12.3	6,632	90.5	6,371	73.2	4,682	49.1	4,656	49.0	3,372	23.0
2019年3月期第2四半期	44,335	9.0	3,482	507.3	3,678	669.2	3,141		3,125		4,380	264.3

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
2020年3月期第2四半期	33.89	33.88
2019年3月期第2四半期	22.75	22.74

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	129,926	87,204	87,060	67.0
2019年3月期	130,467	85,678	85,560	65.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2019年3月期		8.50		13.50	22.00
2020年3月期		11.00			
2020年3月期(予想)				11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	103,000	3.4	11,500	2.3	11,500	1.2	8,500	5.5	8,500	5.1	61.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	138,234,294 株	2019年3月期	138,206,794 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	830,118 株	2019年3月期	840,435 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	137,376,098 株	2019年3月期2Q	137,381,062 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2019年10月31日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14
3. 参考情報	17
最近における四半期毎の業績の推移（連結）	17
最近における四半期毎の財政状態の推移（連結）	18
最近における四半期毎のセグメント情報の推移（連結）	19
決算補足資料	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1) 全般的概況

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	
受注高	47,909	53,632	5,723	11.9%
受注残高	24,289	25,279	989	4.1%
売上収益	44,335	49,808	5,473	12.3%
営業利益	3,482	6,632	3,149	90.5%
税引前四半期利益	3,678	6,371	2,693	73.2%
四半期利益	3,141	4,682	1,541	49.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,125	4,656	1,530	49.0%

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易戦争が激化するも、先進国を中心に緩やかに景気拡大が継続しました。国内においても雇用環境の改善が続くなか、個人消費が堅調に推移しましたが、米国の政策転換や英国のEU離脱など、各国の政治・政策に対するリスクが高まっています。

情報通信分野においては、モバイル・ブロードバンド・サービスは質量ともに拡がりを見せ、データ通信量は急速に増加して、ネットワーク・インフラを逼迫させつつあります。それらの課題を解決するために、モバイル通信方式4Gは、LTE(Long Term Evolution)及びLTE-AdvancedそしてLTE-Advanced Pro(Gigabit LTE)と進化しました。加えて、次世代の通信方式5Gの仕様策定が3GPPで進行しています。2017年12月に5G NSA-NR(Non-Standalone New Radio)、2018年6月に5G SA-NR(Standalone New Radio)の標準化が完了し、5Gの超高速通信に関する主要機能の全仕様が規定されました。3GPPでは引き続き、ユースケースの拡張が期待される超低遅延及び多数同時接続の仕様策定を検討しており、2020年に標準化完了が予定されています。

その結果、米国、韓国に次いで、欧州でも5Gサービスが開始されるなど、各国オペレータの商用化スケジュールは順調に進展しています。日本においても各キャリアに5Gの周波数の割当が決まるなど、2020年の商用化に向けた準備が進みつつあります。

このような環境のもと、計測事業グループは、5Gの開発投資需要を獲得するためのソリューションの開発と組織体制の整備に注力し、5Gチップセット及び端末の初期開発需要を獲得しました。

PQA事業の分野においては、加工食品生産ラインの自動化投資が進むとともに、X線を用いた異物検出並びに包装に関する品質保証などの需要が堅調に推移しています。PQA事業グループは、このような状況下でX線を軸としたソリューションの競争力強化と海外の販売体制の整備拡充に取り組みました。

この結果、受注高は53,632百万円（前年同期比11.9%増）、売上収益は49,808百万円（同12.3%増）、営業利益は6,632百万円（同90.5%増）、税引前四半期利益は6,371百万円（同73.2%増）、四半期利益は4,682百万円（同49.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,656百万円（同49.0%増）となりました。

2) セグメント別の概況

① 計測事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	
売上収益	29,156	35,176	6,020	20.6%
営業利益	2,543	5,907	3,364	132.2%

当事業は、通信事業者、関連機器メーカー、保守工事業者などへ納入する、多機種にわたる通信用及び汎用計測器、測定システム、サービス・アシュアランスの開発、製造、販売を行っています。

当第2四半期連結累計期間は、モバイル市場において5Gチップセット及び携帯端末の開発需要が順調に推移しました。この結果、売上収益は35,176百万円（前年同期比20.6%増）、営業利益は5,907百万円（同132.2%増）となりました。

② PQA（プロダクツ・クオリティ・アシュアランス）事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	
売上収益	11,440	10,698	△741	△6.5%
営業利益	851	460	△391	△46.0%

当事業は、高精度かつ高速の各種自動重量選別機、自動電子計量機、異物検出機などの食品・医薬品・化粧品産業向けの生産管理・品質保証システム等の開発、製造、販売を行っています。

当第2四半期連結累計期間は、国内・海外とも食品市場の品質保証プロセスの改善強化、自動化、省力化に向けた設備投資需要は堅調であるものの、海外市場における大口投資案件の減少等により減収となりました。この結果、売上収益は10,698百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は460百万円（同46.0%減）となりました。

③ その他の事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	
売上収益	3,738	3,932	194	5.2%
営業利益	435	661	225	51.9%

その他の事業は、情報通信事業、デバイス事業、物流、厚生サービス、不動産賃貸等からなっております。

当第2四半期連結累計期間は、デバイス事業の利益が、前年同期と比較して増加しました。この結果、売上収益は3,932百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は661百万円（同51.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1) 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前期末	当第2四半期末	前期末比
資産	130,467	129,926	△541
負債	44,789	42,722	△2,066
資本	85,678	87,204	1,525
有利子負債（リース負債を含む）	16,435	14,664	△1,770

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりです。

① 資産

資産合計は、129,926百万円となり、前期末に比べ541百万円減少しました。主に営業債権及びその他の債権が減少した一方、棚卸資産並びに有形固定資産が増加しました。

② 負債

負債合計は、42,722百万円となり、前期末に比べ2,066百万円減少しました。主に社債及び借入金が増加した一方、IFRS第16号の適用に伴い、リース負債が増加したこと等によりその他の金融負債が増加しました。

③ 資本

資本合計は、87,204百万円となり、前期末に比べ1,525百万円増加しました。主に利益剰余金が増加した一方、その他の資本の構成要素が減少しました。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は67.0%（前期末は65.6%）となりました。

有利子負債残高は14,664百万円（前期末は16,435百万円）、デット・エクイティ・レシオは0.17（前期末は0.19）となりました。また、リース負債を除く有利子負債残高は12,868百万円（前期末は16,248百万円）、リース負債を除くデット・エクイティ・レシオは0.15（前期末は0.19）となりました。

なお、IFRS第16号の適用に伴い、当連結会計年度からリース負債の残高が増加しています。その影響により有利子負債が増加しましたが、長期借入金を返済したため、前期末に比べ有利子負債及びデット・エクイティ・レシオが減少しました。

(注) 親会社所有者帰属持分比率：親会社所有者帰属持分／資産合計

デット・エクイティ・レシオ：有利子負債／親会社所有者帰属持分

2) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,095	8,691	595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△535	△1,132	△597
財務活動によるキャッシュ・フロー	108	△5,675	△5,784
現金及び現金同等物期末残高	43,584	46,145	2,560
(参考) フリー・キャッシュ・フロー	7,559	7,558	△1

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、46,145百万円となり、期首に比べ1,047百万円増加しました。なお、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは、7,558百万円のプラス（前年同期は7,559百万円のプラス）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、純額で8,691百万円（前年同期は8,095百万円の獲得）となりました。これは、税引前四半期利益の計上並びに営業債権及びその他の債権の減少により資金が増加したことが主な要因です。なお、減価償却費及び償却費は2,448百万円（前年同期比281百万円増）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、純額で1,132百万円（前年同期は535百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が主な要因です。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、純額で5,675百万円（前年同期は108百万円の獲得）となりました。これは、長期借入金の返済3,500百万円及び配当金の支払額1,854百万円（前年同期の配当金支払額は1,030百万円）が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは6頁のとおりであり、2019年4月25日に公表した業績予想を修正します。

主力の計測事業において、5G関連のモバイル市場向け開発用計測器需要が順調に推移しています。特にアジア地域において、5Gの開発需要が期初の計画を上回る見込みであることから、通期の業績予想を修正します。

なお、配当につきましては、期初計画どおり1株当たり年間22.00円を予定しております。

(令和元年台風19号の影響について)

2019年10月12日（土）夜から13日（日）未明にかけて、東日本を縦断した「台風19号」により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

「台風19号」による河川の氾濫により、福島県郡山市に所在する連結子会社の東北アンリツ株式会社第一工場が被災いたしました。当社は、地域の復興支援に協力すると共に、従業員ならびにその家族の安全を優先して、同工場における生産体制の復旧に取組み、現在、出荷を再開しております。

なお、被災した資産の復旧等にかかる費用については現在精査中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
前回発表予想(A) (2019年4月25日発表)	102,000	10,000	10,000	7,500	7,500
今回修正予想(B)	103,000	11,500	11,500	8,500	8,500
増減額(B-A)	1,000	1,500	1,500	1,000	1,000
増減率(%)	1.0	15.0	15.0	13.3	13.3
(参考)前期実績	99,659	11,246	11,362	8,991	8,956

(参考) 2020年3月期 期初想定為替レート：1米ドル=105円

下期想定為替レート：1米ドル=105円

セグメント別売上収益の予想

（単位：百万円）

	前回発表予想(A) (2019年4月25日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績
売上収益	102,000	103,000	1,000	1.0	99,659
計測	69,000	70,000	1,000	1.4	68,168
P Q A	24,500	24,500	—	—	23,074
その他	8,500	8,500	—	—	8,416

セグメント別営業利益の予想

（単位：百万円）

	前回発表予想(A) (2019年4月25日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績
営業利益	10,000	11,500	1,500	15.0	11,246
計測	8,000	9,500	1,500	18.8	9,413
P Q A	2,000	2,000	—	—	1,609
その他	900	900	—	—	1,145
調整額	△900	△900	—	—	△921

地域別売上収益の予想

（単位：百万円）

	前回発表予想(A) (2019年4月25日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績
売上収益	102,000	103,000	1,000	1.0	99,659
日本	33,500	33,500	—	—	32,183
海外	68,500	69,500	1,000	1.5	67,475
米州	26,500	26,500	—	—	26,429
E M E A	12,500	11,000	△1,500	△12.0	12,170
アジア他	29,500	32,000	2,500	8.5	28,876

(注) EMEA (Europe, Middle East and Africa) : 欧州・中近東・アフリカ地域

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2019年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2019年9月30日
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	45,097	46,145
営業債権及びその他の債権	25,055	21,353
その他の金融資産	537	16
棚卸資産	18,585	20,941
未収法人所得税	343	400
その他の流動資産	3,375	2,537
流動資産合計	92,994	91,394
非流動資産		
有形固定資産	24,221	25,389
のれん及び無形資産	3,586	3,519
投資不動産	830	746
営業債権及びその他の債権	305	283
その他の金融資産	1,670	1,719
繰延税金資産	6,814	6,833
その他の非流動資産	45	38
非流動資産合計	37,473	38,531
資産合計	130,467	129,926

（単位：百万円）

	前連結会計年度 2019年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2019年9月30日
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	7,599	7,278
社債及び借入金	5,270	9,876
その他の金融負債	70	682
未払法人所得税	3,053	2,831
従業員給付	6,829	6,261
引当金	424	465
その他の流動負債	7,003	7,628
流動負債合計	30,251	35,024
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	435	352
社債及び借入金	10,978	2,992
その他の金融負債	124	1,136
従業員給付	1,100	1,391
引当金	111	111
繰延税金負債	197	198
その他の非流動負債	1,590	1,514
非流動負債合計	14,538	7,697
負債合計	44,789	42,722
資本		
資本金	19,113	19,133
資本剰余金	28,207	28,221
利益剰余金	33,442	36,204
自己株式	△1,133	△1,119
その他の資本の構成要素	5,930	4,620
親会社の所有者に帰属する持分合計	85,560	87,060
非支配持分	117	143
資本合計	85,678	87,204
負債及び資本合計	130,467	129,926

(2) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日
売上収益	44,335	49,808
売上原価	22,188	23,179
売上総利益	22,146	26,628
その他の収益・費用		
販売費及び一般管理費	13,579	13,892
研究開発費	5,226	6,281
その他の収益	337	197
その他の費用	195	20
営業利益	3,482	6,632
金融収益	365	274
金融費用	168	534
税引前四半期利益	3,678	6,371
法人所得税費用	537	1,688
四半期利益	3,141	4,682
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	253	33
計	253	33
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	985	△1,344
計	985	△1,344
その他の包括利益合計	1,238	△1,310
四半期包括利益	4,380	3,372
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	3,125	4,656
非支配持分	16	26
合計	3,141	4,682
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	4,364	3,345
非支配持分	16	26
合計	4,380	3,372
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	22.75	33.89
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	22.74	33.88

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	当第2四半期連結会計期間 自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
売上収益	23,370	26,572
売上原価	12,017	12,500
売上総利益	11,353	14,071
その他の収益・費用		
販売費及び一般管理費	6,870	7,054
研究開発費	2,744	3,160
その他の収益	293	94
その他の費用	180	14
営業利益	1,851	3,936
金融収益	140	104
金融費用	65	200
税引前四半期利益	1,926	3,840
法人所得税費用	484	948
四半期利益	1,441	2,892
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	98	45
計	98	45
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	742	△391
計	742	△391
その他の包括利益合計	840	△346
四半期包括利益	2,282	2,545
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	1,434	2,880
非支配持分	7	11
合計	1,441	2,892
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	2,275	2,533
非支配持分	7	11
合計	2,282	2,545
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	10.44	20.96
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	10.43	20.95

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2018年4月1日残高	19,064	28,137	26,254	△987	5,761	78,230	83	78,313
会計方針の変更による調整額	—	—	183	—	—	183	—	183
修正再表示後の残高	19,064	28,137	26,438	△987	5,761	78,414	83	78,497
四半期利益	—	—	3,125	—	—	3,125	16	3,141
その他の包括利益	—	—	—	—	1,238	1,238	—	1,238
四半期包括利益	—	—	3,125	—	1,238	4,364	16	4,380
株式報酬取引	17	0	24	23	—	65	—	65
剰余金の配当	—	—	△1,030	—	—	△1,030	—	△1,030
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
非支配株主への配当	—	—	—	—	—	—	△0	△0
所有者との取引額等合計	17	0	△1,005	22	—	△965	△0	△965
2018年9月30日残高	19,081	28,138	28,557	△964	7,000	81,813	98	81,912

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2019年4月1日残高	19,113	28,207	33,442	△1,133	5,930	85,560	117	85,678
会計方針の変更による調整額	—	—	△45	—	—	△45	—	△45
修正再表示後の残高	19,113	28,207	33,396	△1,133	5,930	85,515	117	85,632
四半期利益	—	—	4,656	—	—	4,656	26	4,682
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,310	△1,310	—	△1,310
四半期包括利益	—	—	4,656	—	△1,310	3,345	26	3,372
株式報酬取引	19	14	6	14	—	54	—	54
剰余金の配当	—	—	△1,854	—	—	△1,854	—	△1,854
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	0	—	0	—	0	—	0
非支配株主への配当	—	—	—	—	—	—	△0	△0
その他の資本の構成要素から利益 剰余金への振替	—	—	0	—	△0	—	—	—
所有者との取引額等合計	19	14	△1,848	13	△0	△1,800	△0	△1,800
2019年9月30日残高	19,133	28,221	36,204	△1,119	4,620	87,060	143	87,204

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,678	6,371
減価償却費及び償却費	2,166	2,448
受取利息及び受取配当金	△167	△202
支払利息	49	60
固定資産除売却損益（△は益）	△250	△48
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	1,948	3,532
棚卸資産の増減額（△は増加）	111	△2,648
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△2,073	△485
従業員給付の増減額（△は減少）	353	△181
その他	3,294	1,783
小計	9,111	10,629
利息の受取額	119	166
配当金の受取額	48	36
利息の支払額	△53	△54
法人所得税の支払額	△1,204	△2,115
法人所得税の還付額	75	28
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,095	8,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△517	△1
定期預金の払戻による収入	910	478
有形固定資産の取得による支出	△1,242	△1,260
有形固定資産の売却による収入	706	296
その他の金融資産の取得による支出	△2	△0
その他の金融資産の売却による収入	0	0
その他	△390	△645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△535	△1,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,144	113
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,000	△3,500
リース債務の返済による支出	—	△465
配当金の支払額	△1,030	△1,854
その他	△4	31
財務活動によるキャッシュ・フロー	108	△5,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	462	△834
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	8,131	1,047
現金及び現金同等物の期首残高	35,452	45,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,584	46,145

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	リースに関する会計処理の改訂

IFRS第16号では、契約の開始時に、当該契約がリース又はリースを含んだ契約であるのかを契約の実質に基づき判定します。実質的に契約が特定された資産の使用を支配する権利を一定期間にわたり対価と交換に移転する場合には、当該契約はリースであるかリースを含んだ契約であると判定しております。

リースの開始時においては、当該リースが短期リース又は少額資産のリースに該当する場合を除き、リース負債及び使用権資産を認識しております。短期リース又は少額資産のリースについては、IFRS第16号に定められた実務上の便法に基づきリース料をリース期間にわたり定額法により費用認識しております。

リース負債は、開始時現在で支払われていないリース料を、リースの計算利率で割り引いた現在価値で測定しております。リースの計算利率が容易に算定できない場合には借手の追加借入利率で割り引いた現在価値で測定しております。開始日後においては、リース負債に係る金利費用や支払われたリース料を反映するようにリース負債を増減しております。

使用権資産は、開始時におけるリース負債の当初測定額に当初直接コスト等を調整し、リース契約に基づき要求される原状回復義務等のコストを加えた額で当初の測定を行っております。開始日後においては、原価モデルを適用し、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除して測定しております。使用権資産は、当社グループがリース期間の終了時にリース資産の所有権を取得する事が合理的に確実である場合を除き、耐用年数もしくはリース期間のいずれか短い期間で定額法により減価償却しております。リース期間については、行使することが合理的に確実である場合のリースの延長オプション及び解約オプションの対象期間を含めております。

当社グループでは、IFRS第16号への移行により、IAS第17号「リース」の下でオペレーティング・リースとして分類していたリースについて使用権資産とリース負債を新たに認識しております。IAS第17号の下でファイナンス・リースとして分類していたリースについては、IAS第17号による帳簿価額をそのまま引き継いでおりますが、それらのうち少額資産のリースに該当するものは実務上の便法に基づき使用権資産とリース負債の認識を中止しリース料をリース期間にわたり定額法で費用認識する会計処理に変更しております。

また、IAS第17号の下で費用認識していたオペレーティング・リースのリース料については、利息法に基づき金融費用とリース負債の返済額に配分し、金融費用を要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書において認識しております。オペレーティング・リースのリース負債の返済額については、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、従前は営業活動によるキャッシュ・フローの減額項目として計上されておりましたが、財務活動によるキャッシュ・フローの減額項目に計上区分が変更されております。

IFRS第16号の適用にあたっては、当社グループでは、経過措置に準拠して遡及適用を行い、適用開始による累積的影響を当連結会計年度の利益剰余金期首残高に対する修正として認識しており、適用開始時点における契約にリースが含まれているか否かの判断については、IAS第17号「リース」及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引継いでおります。また、以下の実務上の便法を適用しております。

- ・特性が合理的に類似したリースのポートフォリオに単一の割引率を適用
- ・減損レビューを実施することの代替として、リースが適用開始日直前においてIAS第37号「引当金、偶発負債及び偶発資産」を適用して不利であるかどうかの評価に依拠
- ・過去にオペレーティング・リースに分類していたリースについて、当初直接コストを適用開始日現在の使用権資産の測定から除外

これらの結果、適用開始日において要約四半期連結財政状態計算書に、使用権資産1,705百万円を有形固定資産として、リース負債1,758百万円をその他の金融負債として追加的に認識しております。また、利益剰余金に45百万円の減少を認識しております。要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書には重要な影響はありません。

なお、前連結会計年度末でIAS第17号を適用して開示した解約不能オペレーティング・リース契約と適用開始日において要約四半期連結財政状態計算書に認識したリース負債の調整表は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	金額
2019年3月31日現在で開示した 解約不能オペレーティング・リース契約	1,139
2019年3月31日現在で開示した 解約不能オペレーティング・リース契約（割引後）（注1）	657
ファイナンス・リース負債（2019年3月31日現在）	186
解約可能オペレーティング・リースに係る負債計上	1,104
費用として定額法で認識される少額リース等	△3
2019年4月1日現在のリース負債	1,945

(注1) 2019年3月31日現在で開示した解約不能オペレーティング・リース契約（割引後）の金額については、非リース構成部分を分離した後の割引後の金額となっております。

(注2) 適用開始日において要約四半期連結財政状態計算書に認識したリース負債に適用している借手の追加借入利率の加重平均は2.8%です。

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、製品・サービスで区分した事業セグメントごとに国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。取締役会においては、各事業セグメントの財務情報をもとに、定期的に経営資源の配分の決定及び業績の評価を行っております。当社グループは、「計測事業」及び「PQA事業」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品・サービスは以下のとおりです。

計測	デジタル通信・IPネットワーク用測定器、光通信用測定器、移動通信用測定器、RF・マイクロ波・ミリ波帯汎用測定器、サービス・アシュアランス
PQA	自動重量選別機、自動電子計量機、異物検出機、総合品質管理・制御システム

2. 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

報告セグメント間の売上収益は、通常の市場価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結純損益 及びその他 の包括利益 計算書計上 額
	計測	PQA	計				
外部顧客からの売上収益	29,156	11,440	40,597	3,738	44,335	—	44,335
セグメント間の売上収益	47	1	49	1,943	1,992	△1,992	—
計	29,204	11,442	40,646	5,681	46,328	△1,992	44,335
売上原価及びその他の 収益・費用	△26,660	△10,590	△37,250	△5,245	△42,496	1,643	△40,853
営業利益	2,543	851	3,395	435	3,831	△349	3,482
金融収益	—	—	—	—	—	—	365
金融費用	—	—	—	—	—	—	168
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	3,678
法人所得税費用	—	—	—	—	—	—	537
四半期利益	—	—	—	—	—	—	3,141

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、情報通信、デバイス、物流、厚生サービス、不動産賃貸、人事・経理事務処理業務、部品製造等を含んでおります。

(注2) 営業利益の調整額には、セグメント間取引消去1百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△351百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない基礎研究費用及び一般管理費です。

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結純損益 及びその他 の包括利益 計算書計上 額
	計測	PQA	計				
外部顧客からの売上収益	35,176	10,698	45,875	3,932	49,808	—	49,808
セグメント間の売上収益	36	1	37	2,290	2,327	△2,327	—
計	35,212	10,700	45,913	6,222	52,136	△2,327	49,808
売上原価及びその他の 収益・費用	△29,304	△10,240	△39,545	△5,561	△45,106	1,930	△43,176
営業利益	5,907	460	6,368	661	7,029	△397	6,632
金融収益	—	—	—	—	—	—	274
金融費用	—	—	—	—	—	—	534
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	6,371
法人所得税費用	—	—	—	—	—	—	1,688
四半期利益	—	—	—	—	—	—	4,682

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、情報通信、デバイス、物流、厚生サービス、不動産賃貸、人事・経理事務処理業務、部品製造等を含んでおります。

(注2) 営業利益の調整額には、セグメント間取引消去3百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△401百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない基礎研究費用及び一般管理費です。

3. 地域別売上収益

売上収益の地域別内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日
日本	13,800	16,031
米州	10,940	11,307
EMEA	5,652	5,395
アジア他	13,941	17,073
合計	44,335	49,808

(注) 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 参考情報

最近における四半期毎の業績の推移（連結）

2019年3月期

	第1四半期 自2018年4月1日 至2018年6月30日	第2四半期 自2018年7月1日 至2018年9月30日	第3四半期 自2018年10月1日 至2018年12月31日	第4四半期 自2019年1月1日 至2019年3月31日
売上収益	20,964	23,370	26,785	28,538
売上総利益	10,793	11,353	14,429	14,276
営業利益	1,630	1,851	4,233	3,530
税引前四半期利益	1,752	1,926	4,171	3,512
四半期利益	1,699	1,441	3,141	2,708
親会社所有者帰属四半期利益	1,690	1,434	3,132	2,698
四半期包括利益	2,097	2,282	2,131	2,870
	円	円	円	円
基本的1株当たり四半期利益	12.31	10.44	22.80	19.65
希薄化後1株当たり四半期利益	12.30	10.43	22.79	19.63
資産合計	122,871	126,289	126,559	130,467
資本合計	79,574	81,912	82,730	85,678
	円	円	円	円
1株当たり親会社所有者帰属持分	578.54	595.40	601.63	622.87
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,046	3,049	1,271	2,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△634	98	△578	497
財務活動によるキャッシュ・フロー	△523	632	△1,791	△369
現金及び現金同等物の増減額	3,955	4,175	△1,529	3,042
現金及び現金同等物期末残高	39,408	43,584	42,054	45,097

2020年3月期

	第1四半期 自2019年4月1日 至2019年6月30日	第2四半期 自2019年7月1日 至2019年9月30日	第3四半期 自2019年10月1日 至2019年12月31日	第4四半期 自2020年1月1日 至2020年3月31日
売上収益	23,236	26,572	—	—
売上総利益	12,557	14,071	—	—
営業利益	2,695	3,936	—	—
税引前四半期利益	2,531	3,840	—	—
四半期利益	1,790	2,892	—	—
親会社所有者帰属四半期利益	1,776	2,880	—	—
四半期包括利益	826	2,545	—	—
	円	円	円	円
基本的1株当たり四半期利益	12.93	20.96	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益	12.92	20.95	—	—
資産合計	130,144	129,926	—	—
資本合計	84,618	87,204	—	—
	円	円	円	円
1株当たり親会社所有者帰属持分	615.04	633.61	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,741	3,949	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△708	△424	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,799	△3,875	—	—
現金及び現金同等物の増減額	1,569	△521	—	—
現金及び現金同等物期末残高	46,666	46,145	—	—

最近における四半期毎の財政状態の推移（連結）

2019年3月期

（単位：百万円）

	第1四半期 2018年6月30日	第2四半期 2018年9月30日	第3四半期 2018年12月31日	第4四半期 2019年3月31日
資産	122,871	126,289	126,559	130,467
流動資産	81,680	85,609	86,831	92,994
非流動資産	41,191	40,679	39,727	37,473
有形固定資産	25,710	25,668	25,160	24,221
のれん及び無形資産	3,888	3,803	3,717	3,586
投資不動産	1,422	913	871	830
その他の非流動資産	10,169	10,294	9,977	8,835
負債	43,296	44,377	43,828	44,789
流動負債	27,271	28,629	27,766	30,251
非流動負債	16,025	15,748	16,061	14,538
資本	79,574	81,912	82,730	85,678
資本金	19,065	19,081	19,091	19,113
資本剰余金	28,104	28,138	28,151	28,207
利益剰余金	27,118	28,557	30,522	33,442
自己株式	△964	△964	△1,132	△1,133
その他の資本の構成要素	6,159	7,000	5,990	5,930
非支配持分	91	98	107	117
有利子負債（リース負債を含む）	16,679	17,303	16,834	16,435

2020年3月期

（単位：百万円）

	第1四半期 2019年6月30日	第2四半期 2019年9月30日	第3四半期 2019年12月31日	第4四半期 2020年3月31日
資産	130,144	129,926	—	—
流動資産	91,252	91,394	—	—
非流動資産	38,891	38,531	—	—
有形固定資産	25,709	25,389	—	—
のれん及び無形資産	3,482	3,519	—	—
投資不動産	788	746	—	—
その他の非流動資産	8,911	8,875	—	—
負債	45,526	42,722	—	—
流動負債	37,858	35,024	—	—
非流動負債	7,667	7,697	—	—
資本	84,618	87,204	—	—
資本金	19,114	19,133	—	—
資本剰余金	28,220	28,221	—	—
利益剰余金	33,318	36,204	—	—
自己株式	△1,133	△1,119	—	—
その他の資本の構成要素	4,966	4,620	—	—
非支配持分	131	143	—	—
有利子負債（リース負債を含む）	18,460	14,664	—	—

最近における四半期毎のセグメント情報の推移（連結）

2019年3月期

（単位：百万円）

	第1四半期 自2018年4月1日 至2018年6月30日	第2四半期 自2018年7月1日 至2018年9月30日	第3四半期 自2018年10月1日 至2018年12月31日	第4四半期 自2019年1月1日 至2019年3月31日
セグメント別受注高	22,595	25,314	25,994	26,915
計測	14,579	17,420	17,989	18,813
PQA	5,726	5,908	5,638	6,043
その他	2,289	1,984	2,365	2,059
セグメント別受注残高	22,689	24,289	23,383	21,882
計測	15,964	18,210	16,660	15,988
PQA	5,147	4,560	4,988	4,582
その他	1,577	1,519	1,733	1,311
セグメント別売上収益	20,964	23,370	26,785	28,538
計測	14,388	14,767	19,446	19,565
PQA	4,898	6,541	5,176	6,457
その他	1,676	2,061	2,162	2,515
セグメント別営業利益	1,630	1,851	4,233	3,530
計測	1,516	1,026	3,969	2,899
PQA	150	701	179	578
その他	103	331	285	423
調整額	△140	△208	△201	△371
地域別売上収益	20,964	23,370	26,785	28,538
日本	5,685	8,115	7,667	10,715
米州	6,046	4,893	8,095	7,393
EMEA	2,920	2,732	3,448	3,069
アジア他	6,312	7,629	7,573	7,360

2020年3月期

（単位：百万円）

	第1四半期 自2019年4月1日 至2019年6月30日	第2四半期 自2019年7月1日 至2019年9月30日	第3四半期 自2019年10月1日 至2019年12月31日	第4四半期 自2020年1月1日 至2020年3月31日
セグメント別受注高	27,166	26,466	—	—
計測	19,751	17,501	—	—
PQA	5,330	6,624	—	—
その他	2,083	2,341	—	—
セグメント別受注残高	25,650	25,279	—	—
計測	18,328	17,554	—	—
PQA	5,722	5,804	—	—
その他	1,599	1,920	—	—
セグメント別売上収益	23,236	26,572	—	—
計測	17,315	17,861	—	—
PQA	4,088	6,610	—	—
その他	1,832	2,100	—	—
セグメント別営業利益	2,695	3,936	—	—
計測	2,761	3,146	—	—
PQA	△158	618	—	—
その他	286	374	—	—
調整額	△194	△202	—	—
地域別売上収益	23,236	26,572	—	—
日本	6,442	9,589	—	—
米州	5,950	5,356	—	—
EMEA	2,722	2,673	—	—
アジア他	8,120	8,953	—	—

決算補足資料

1. 通期連結業績推移

(単位：百万円)

	実績					予想
	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
売上収益	98,839	95,532	87,638	85,967	99,659	103,000
前期比 %	△3.0%	△3.3%	△8.3%	△1.9%	15.9%	3.4%
営業利益	10,882	5,897	4,234	4,912	11,246	11,500
前期比 %	△22.9%	△45.8%	△28.2%	16.0%	128.9%	2.3%
営業利益率 %	11.0%	6.2%	4.8%	5.7%	11.3%	11.2%
税引前利益	11,591	5,434	3,628	4,602	11,362	11,500
前期比 %	△18.6%	△53.1%	△33.2%	26.8%	146.9%	1.2%
税引前利益率 %	11.7%	5.7%	4.1%	5.4%	11.4%	11.2%
当期利益	7,874	3,767	2,734	2,898	8,991	8,500
前期比 %	△15.5%	△52.2%	△27.4%	6.0%	210.2%	△5.5%
当期利益率 %	8.0%	3.9%	3.1%	3.4%	9.0%	8.3%
基本的1株当たり当期利益	¥55.72	¥27.38	¥19.65	¥20.97	¥65.20	¥61.87
受注高	101,084	94,589	88,934	88,542	100,819	103,000
前期比 %	△2.7%	△6.4%	△6.0%	△0.4%	13.9%	2.2%
営業キャッシュ・フロー	7,582	10,195	9,246	7,946	12,247	12,500
前期比 %	△45.0%	34.5%	△9.3%	△14.1%	54.1%	2.1%
フリー・キャッシュ・フロー	1,533	1,153	5,581	4,014	11,631	7,500
前期比 %	△81.9%	△24.8%	384.0%	△28.1%	189.7%	△35.5%
設備投資額(注1,4)	9,612	5,399	2,588	3,430	2,436	4,400
前期比 %	79.5%	△43.8%	△52.1%	32.5%	△29.0%	80.6%
減価償却費(注2,4)	3,186	3,736	3,935	3,964	4,031	4,100
前期比 %	11.3%	17.3%	5.3%	0.7%	1.7%	1.7%
研究開発費(注3)	13,366	13,089	11,212	10,556	12,008	13,300
前期比 %	7.0%	△2.1%	△14.3%	△5.9%	13.8%	10.8%
売上収益比率 %	13.5%	13.7%	12.8%	12.3%	12.0%	12.9%
従業員数	3,926	3,846	3,788	3,717	3,778	-

(注1)無形資産に計上した資産化開発費は含めておりません。

(注2)無形資産に計上している資産化開発費の償却額は含めておりません。

(注3)一部資産化した開発費を含めて研究開発費投資額を記載しております。したがって、連結純損益及びその他の包括利益計算書で費用計上されている研究開発費とは一致しません。

(注4)2020年3月期の設備投資額及び減価償却費は、IFRS第16号の適用による影響を含んでおりません。

2. 四半期連結業績推移

(単位：百万円)

	2018/Q1	2018/Q2	2018/Q3	2018/Q4	2019/Q1	2019/Q2	2019/Q3	2019/Q4
売上収益	20,964	23,370	26,785	28,538	23,236	26,572	-	-
前年同期比 %	7.9%	9.9%	24.2%	20.4%	10.8%	13.7%	-	-
営業利益	1,630	1,851	4,233	3,530	2,695	3,936	-	-
前年同期比 %	-	151.5%	102.3%	57.2%	65.3%	112.6%	-	-
営業利益率 %	7.8%	7.9%	15.8%	12.4%	11.6%	14.8%	-	-
税引前利益	1,752	1,926	4,171	3,512	2,531	3,840	-	-
前年同期比 %	-	200.1%	93.1%	78.8%	44.5%	99.3%	-	-
税引前利益率 %	8.4%	8.2%	15.6%	12.3%	10.9%	14.5%	-	-
当期利益	1,699	1,441	3,141	2,708	1,790	2,892	-	-
前年同期比 %	-	251.5%	146.0%	90.4%	5.4%	100.6%	-	-
当期利益率 %	8.1%	6.2%	11.7%	9.5%	7.7%	10.9%	-	-

(単位：百万円)

上段：売上収益 下段：営業利益	2018/Q1	2018/Q2	2018/Q3	2018/Q4	2019/Q1	2019/Q2	2019/Q3	2019/Q4
計測	14,388 1,516	14,767 1,026	19,446 3,969	19,565 2,899	17,315 2,761	17,861 3,146	- -	- -
PQA	4,898 150	6,541 701	5,176 179	6,457 578	4,088 △158	6,610 618	- -	- -
その他	1,676 103	2,061 331	2,162 285	2,515 423	1,832 286	2,100 374	- -	- -
調整額	- △140	- △208	- △201	- △371	- △194	- △202	- -	- -
売上収益 計	20,964	23,370	26,785	28,538	23,236	26,572	-	-
営業利益 計	1,630	1,851	4,233	3,530	2,695	3,936	-	-

3. 連結セグメント業績推移

(1) セグメント別売上収益

(単位：百万円)

	実績					予想
	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
計測	73,443	67,729	59,333	54,433	68,168	70,000
前期比	△3.3%	△7.8%	△12.4%	△8.3%	25.2%	2.7%
PQA	16,198	18,891	19,588	22,549	23,074	24,500
前期比	△4.3%	16.6%	3.7%	15.1%	2.3%	6.2%
その他	9,198	8,910	8,716	8,984	8,416	8,500
前期比	2.5%	△3.1%	△2.2%	3.1%	△6.3%	1.0%
合計	98,839	95,532	87,638	85,967	99,659	103,000
前期比	△3.0%	△3.3%	△8.3%	△1.9%	15.9%	3.4%

(注)2016年3月期より、「PQA」は従来の「産業機械」から名称変更しております。過年度においても、変更後の名称で表示しております。

(2) セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	実績					予想
	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
計測	8,943	4,706	2,130	2,147	9,413	9,500
前期比	△31.3%	△47.4%	△54.7%	0.8%	338.3%	0.9%
PQA	824	1,194	1,302	1,969	1,609	2,000
前期比	△31.8%	45.0%	9.0%	51.2%	△18.3%	24.2%
その他	1,963	575	992	1,458	1,145	900
前期比	108.5%	△70.7%	72.5%	47.0%	△21.5%	△21.4%
調整額	△848	△578	△190	△663	△921	△900
前期比	-	-	-	-	-	-
合計	10,882	5,897	4,234	4,912	11,246	11,500
前期比	△22.9%	△45.8%	△28.2%	16.0%	128.9%	2.3%

(注)2019年3月期から本社管理費等の各事業セグメントへの配分方法を変更しており、2018年3月期の数値は組替再表示しております。2015年3月期から2017年3月期の数値は組替再表示しておりません。

(3) 地域別売上収益

(単位：百万円)

	実績					予想
	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
日本	27,116	28,565	29,338	29,753	32,183	33,500
前期比	△10.0%	5.3%	2.7%	1.4%	8.2%	4.1%
海外	71,723	66,966	58,299	56,213	67,475	69,500
前期比	0.0%	△6.6%	△12.9%	△3.6%	20.0%	3.0%
米州	24,367	23,246	19,633	17,419	26,429	26,500
前期比	△15.6%	△4.6%	△15.5%	△11.3%	51.7%	0.3%
EMEA	15,885	13,537	12,520	12,781	12,170	11,000
前期比	8.8%	△14.8%	△7.5%	2.1%	△4.8%	△9.6%
アジア他	31,470	30,182	26,145	26,012	28,876	32,000
前期比	11.4%	△4.1%	△13.4%	△0.5%	11.0%	10.8%
合計	98,839	95,532	87,638	85,967	99,659	103,000
前期比	△3.0%	△3.3%	△8.3%	△1.9%	15.9%	3.4%

(参考) 下期想定為替レート：1米ドル105円